



VITRIFICATION BY ORIGIO®

VitriFit™

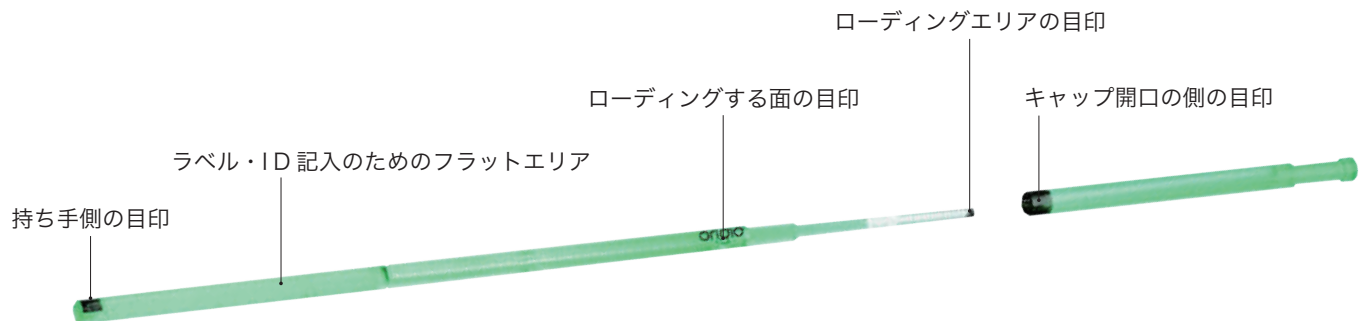
NEW
8 colors

ヘキサゴナルシェイプが最大50%のスペースを節約。
従来よりも多くの本数を保管可能。

収納スペースを最大限に活用するガラス化凍結用デバイス

ラウンドした先端形状なので、液体の表面張力を利用し、0.1 µl以下の凍結液で胚が凍結可能です。

ロック機能を備えたキャップで、タンク内でキャップが外れるリスクを低減します。



カタログ番号	製品名	包装
42782001	 VitriFit™(透明)	20本(個包装)/箱
42812001	 VitriFit™(黄)	
42852001	 VitriFit™(オレンジ)	
42862001	 VitriFit™(ピンク)	
42842001	 VitriFit™(紫)	
42792001	 VitriFit™(青)	
42822001	 VitriFit™(ライムグリーン)	
42802001	 VitriFit™(緑)	

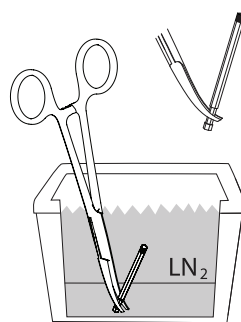
品質管理項目

- エンドトキシンテスト済み
- マウスエンブリオアッセイテスト済み
- ガンマ線滅菌済み

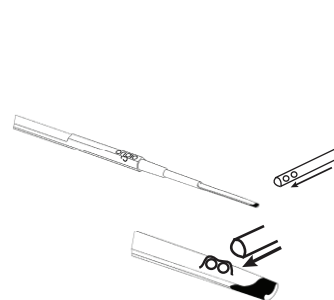
使用方法

凍結

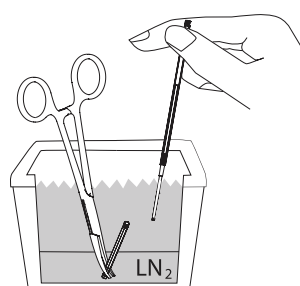
1. ガラス化凍結液のプロトコールに従い、保存する検体を準備してください。
2. VitriFit™を包装袋を開け、キャップを取り外して、キャップを液体窒素中に沈めてください【図1】。
3. 胚操作ピペットを用いて、ごく少量のガラス化液と共に、チップ先端に検体を載せてください【図2】。
*検体はチップ先端の黒い部分より内側に載せてください。黒い部分に載せると顕微鏡下での胚の観察が困難になります。
4. VitriFit™を液体窒素中に入れる前に、必要に応じてチップの先端に載せたガラス化液の液量を調節してください。
5. 実体顕微鏡下で検体が載っていることを確認し、液体窒素中に素早く入れます。
6. 撮子で液体窒素中に沈めていたキャップをつまみ、VitriFit™の先端からキャップを慎重にかぶせます【図3】。
7. キャップを完全にかぶせた後、ゆっくりとVitriFi™をねじりながら締めてください【図4】。
8. 検体を保存する液体窒素タンクにVitriFit™を保管します。



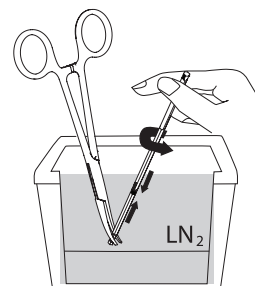
【図1】



【図2】



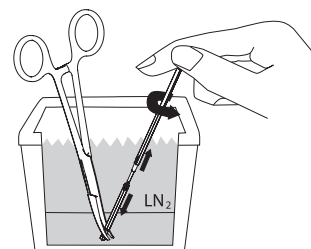
【図3】



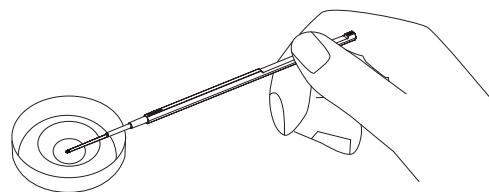
【図4】

融解

1. ガラス化融解液のプロトコールに従い、融解する検体を準備してください。
2. 検体を保管している液体窒素タンクからVitriFit™を取り出し、液体窒素を満たした容器に移してください。
3. 撮子でキャップを押さえたまま、VitriFit™をゆっくりとねじり、キャップを取り外します【図5】。
4. VitriFit™をのチップ先端を素早く融解液に入れ、実体顕微鏡下で確認をしながら、VitriFit™をゆっくりと動かし、保存してある検体を融解してください【図6】。
5. ガラス化融解液のプロトコールに従い、胚の融解操作を行ってください。



【図5】



【図6】

*本製品は薬機法の定めるところの「医薬品」「医薬部外品」ではありません。また、ヒト・動物の診断あるいは治療用として用いるものではありません。